

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	園芸バリカン SGT-160		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所			
	店名	☎ ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

園芸バリカン SGT-160 取扱説明書



二重絶縁

このたびは園芸バリカンをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や身近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

図前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

園芸バリカン使用上のご注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、園芸バリカンとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 本機が、輸送途中において衝撃等により接続金具が外れて破損することがあります。使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。電源コード、差し込みプラグを傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。又、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- 作業中、作業後に、本機を雨の中や湿気の多いところに放置しないでください。又、ぬれた手で差し込みプラグに触れないで下さい。感電の恐れがあり危険です。
- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと、本機が振れ、事故の原因になります。
- 雨上がり、散水直後のぬれた芝や、草木の刈り込みはしないでください。感電の恐れがあり危険です。
- 本機は、スイッチを切ってもブレード(刃)はすぐ止まりません、ブレード(刃)には手や顔、足などを近づけないでください。事故の原因になります。
- 作業前に、小石、樺切れ等作業場所にある障害物を取り除いてください。ブレード(刃)に当たると障害物が飛散し、けがの原因になります。
- 草木や枝を手にとって切断しないでください。事故の原因になります。
- 本機の持ち運び、ブレード(刃)の点検、交換や処理物の除去ではスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて行ってください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意の起動により事故の原因になります。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電の恐れがあります。
- ブレード(刃)にひび、欠けなどの異常があったときには、新しいブレード(刃)と交換してください。切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。

- 小さいお子様やペットのいるそばで本機を使わないでください、また作業中も近づかないようにご注意ください。
- 小さいお子様や不慣れな方には、絶対に使わせないでください。事故の原因になります。
- 本機を連続回転させたまま放置しないでください。思わぬ事故の原因となります。
- 作業者は長袖、長ズボン、運動靴、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください。処理物が飛散したときなど、思わぬ事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)

⚠ 注意

- ブレード(刃)は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。又、締付けが確実でないと外れたり、けがの原因になります。
- 本機を持ち運ぶときは、ブレード(刃)でけがをすることがあります。持ち運びではブレードカバーを必ずつけてください。
- 本機を直射日光の当たる所、温度や湿度の高いところには放置しないでください。故障の原因になります。
- 使用後は、必ず屋内でお子様の手が届かないところに保管してください。

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

☐ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

仕様明細

形 式 名	SGT-160
電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
全 負 荷 電 流	0.8A
消 費 電 力	70W
ス ト ロ ー ク 数	1,200min ⁻¹
刈 り 込 み 高 さ	10,15,20,25mm (4段階目盛付)
刈 り 込 み 幅	160mm
刃 の 寸 法	幅160mm
機 体 寸 法	310(長さ)×160(幅)×135mm(高さ)
質 量	本体0.95kg
コ ー ド の 長 さ	250mm
絶 縁 方 式	回二重絶縁
定 格 時 間	30分

※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

用途

- 芝生の刈り込み、きわ刈り

部品の名称

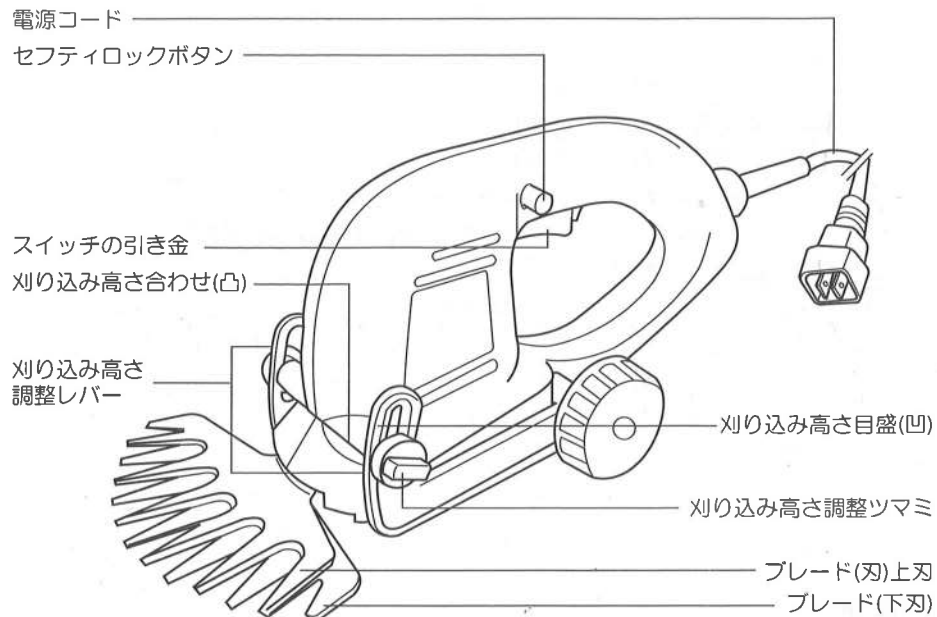






図1

付属部品

部品名			
ブレードカバー	延長コード(10m)	コードストラップ	フック
			

ご使用前の準備

■スイッチの操作

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC-100Vの電圧でご使用下さい。表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。

- スイッチはセフティロックボタンを押した状態でスイッチの引き金を引いてください。(図2参照)
- ☞ スイッチはセフティロックボタンを押して引き金を操作しないと入りません。

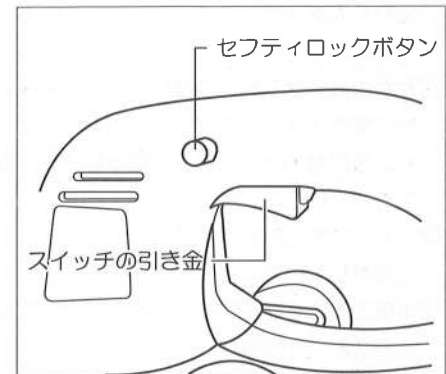


図2

■電源コードの接続方法

⚠ 警告

- 差込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。

- 電源コードと延長コードを接続するときは、付属のコードストラップに通し、接続部が簡単に抜けないようにしてください。(図3参照)
- 電源コードと延長コードの接続は余裕を持たせてください。
- 接続部を確実に接続してから、延長コードのプラグを電源に差込んでください。

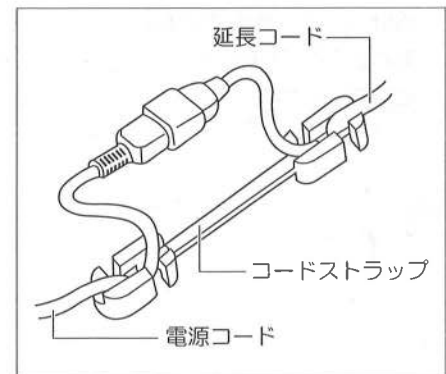


図3

■刈り込み高さの設定

⚠ 警告

- 刈り込みの高さ設定では必ず、スイッチが切れていることを確認してください。又、差込みプラグを電源から抜いて行ってください。

① 刈り込み高さは、10、15、20、25mmの4段階目盛り付です。

② 刈り込み高さ調整ツマミをゆるめてください。
(図4参照)

③ 刈り込み高さ調整レバーを上下にスライドさせて、刈り込み高さを調整します。(図4参照)

☞ 左右の刈り込み高さ調整レバーは、一体で同時に動きます。左右が同時にかかる操作で動くようになるまで、高さ調整ツマミをゆるめてください。

☞ 左右の刈り込み高さ調整レバーを無理に別々に調整しないでください。

④ 本機正面の刈り込み高さ合わせ突起(凸)部に、刈り込み高さ調整レバーの目盛り(凹)部を合わせ、高さ調整ツマミを締付けてください。
(図5参照)

☞ 刈り込み高さ調整レバーの目盛り(凹)部は、上から25、20、15、10mmです。目盛りを合わせたら、高さ調整ツマミを確実に締付けてください。(図5参照)

☞ 刈り込み高さの目盛りは、刈った後の芝の長さ(mm)です。地面の起伏などで多少長さが変わることがありますので、あくまでも目安としてください。

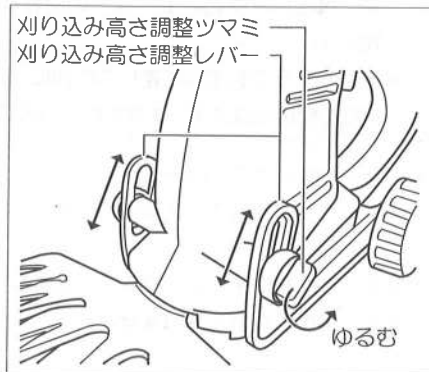


図4

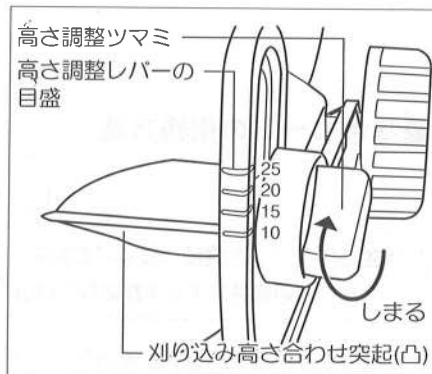


図5

刈り込み作業について

⚠ 注意

- 使用中は本機を確実に保持してください。確実に保持していないと本機が振れ、事故の原因になります。
- 雨上がり、散水直後のぬれた芝や、草木の刈り込みはしないでください。感電の恐れがあります。
- 本機は、スイッチを切ってもブレード(刃)はすぐ止まりません、ブレード(刃)には手や顔、足などを近づけないでください。事故の原因になります。
- 作業前に、小石、棒切れ等作業場所にある障害物を取り除いてください。ブレード(刃)に当たると障害物が飛散し、けがの原因になります。
- 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。感電の恐れがあります。
- 草木や枝を手に持って切断しないでください。事故の原因になります。
- 本機の持ち運び、ブレード(刃)の点検、交換や処理物の除去ではスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて行ってください。プラグを差しこんだまま作業をしますと、不意の起動により事故の原因になります。
- ブレード(刃)にひび、欠けなどの異常があったときには、新しいブレード(刃)と交換してください。切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。

● 芝生の刈り込み

- 本機を芝生の上に置き、すべらせるようにゆっくりと前進させてください。(図6参照)

● きわ刈り

- 縁石などのきわ刈りでは、ブレード(刃)側面が縁石などに当たらないように、約45度位の角度を付けて刈り進めてください。(図6参照)

☞ ブレード(刃)の側面を縁石などに当たると、跳ね返りが生じます。

● 庭木の刈り込み

- 新芽、葉の刈り込みに

☞ 小枝、堅い枝は刈り込まないでください。モーターが停止し、故障の原因になります。又、ブレード(刃)のすり合わせが甘くなり、芝生などの刈り込みが、しにくくなる場合があります。

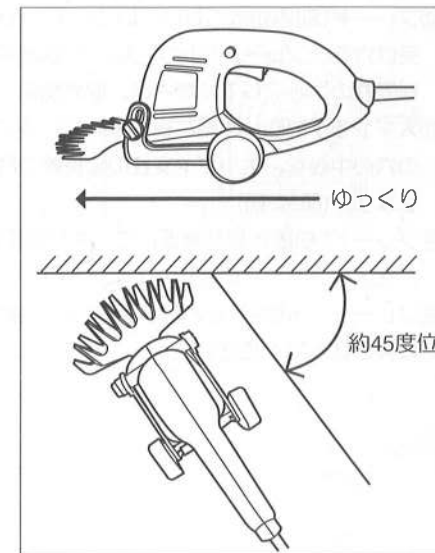


図6

保守、点検について

■ブレード(刃)の交換

⚠ 警告

- ブレード(刃)の交換では必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。
- ブレード(刃)の交換では必ず手袋をしてください、けがの原因になります。

●ブレード(刃)の取外し

- ①本機を裏返しにしてください。
- ②⊕ドライバー(市販品)で裏蓋固定ネジ(4本)をぬいて、裏蓋を外してください。(図7参照)
- ③ブレード(刃)は、ブレード固定板に組付けられ裏蓋と同時に裏蓋固定ネジで取付けられています。そのまま持ち上げて取外してください。

●ブレード(刃)の取付け

- ①ブレード(刃)の上刃、下刃の偏芯板受穴を均等に揃えてください。(図8参照)
 - ②ブレード(刃)固定板に付いている大ギヤ支柱受け穴を、ブレード(刃)の上刃、下刃の偏芯板受穴の中心にしてください。(図8参照)
 - ③大ギヤを手で回し、偏芯板に付いている2コの穴の中心を、大小ギヤ支柱の延長線に合わせます。(図9参照)
 - ④ブレード(刃)固定板を裏返して、ギヤ支柱受け穴を大小ギヤ支柱に差込んでください。
- ㊦ブレード(刃)固定板をハウジングの凹部に確実に押し込んでください。

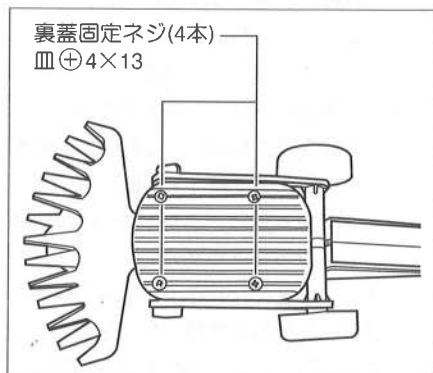


図7

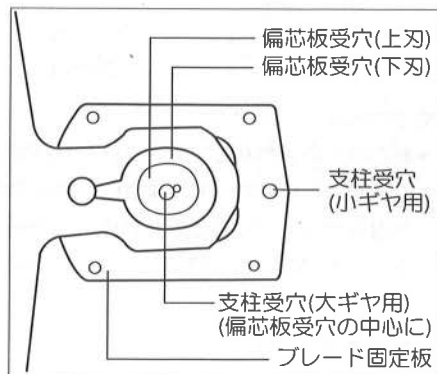


図8

㊥裏蓋をブレード(刃)固定板にかぶせ、裏蓋固定ネジ(4本)で取付けてください。

㊦ブレード(刃)固定板が動かないように注意して裏蓋をかぶせ、固定ネジ(4本)で確実に取付けてください。

㊧裏蓋は、左右に違いがありますので注意してください。

㊨ギヤ部に付いているグリスは拭き取らないでください。又、異物が混入した場合は取除いて、グリスを補充してください。

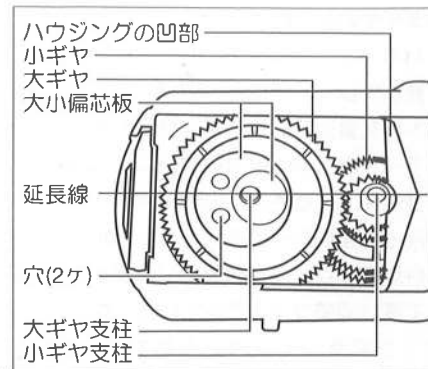


図9

■タイヤの取外し、取付け方法

⚠ 警告

- タイヤを取外す前に必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

- 庭木の刈り込みなどタイヤが不要のときは、次の要領で取外してご使用ください。

●タイヤの取外し

- ①11ページ、ブレード(刃)の取外しを参照して裏蓋とブレード(刃)固定板を外してください。
- ②刈り込み高さ調整ツマミをゆるめて、締まっているネジから外してください。
- ③刈り込み高さ調整ツマミの締込みネジを抜き取って、刈り込み高さ調整レバーを自由にしてください。(図10参照)
- ④本機を裏返しにしたまま両手でタイヤを持ち、両手の親指をハンドルにあてがいタイヤを持ち上げて、ハンドルの凹部よりタイヤ軸を取外してください。(図11参照)
- ⑤11ページ、ブレード(刃)の取付けを参照してブレード(刃)固定板と裏蓋を裏蓋固定ネジ(4本)で取付けてご使用ください。

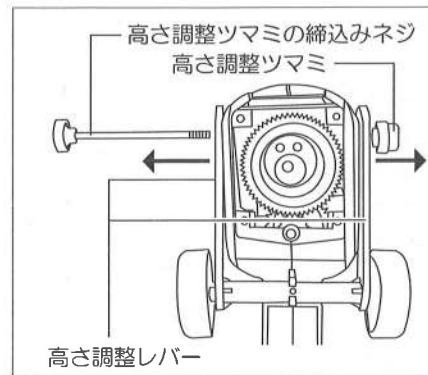


図10

●タイヤの取付け

- ①11ページ、ブレード(刃)の取外しを参照して裏蓋とブレード(刃)固定板を外してください。
- ②本機を裏返しにしたまま両手でタイヤを持ち、タイヤ軸の中心(凸)部をハンドル裏面(凹)部に押し込んでください。(図12参照)
- ③高さ調整レバーの長穴を高さ調整ツマミのネジ穴に合わせ、高さ調整ツマミ締込みネジを通して高さ調整ツマミで固定してください。
Ⓜ高さ調整ツマミ締込みネジは、空転防止六角穴側より通してください。(図13参照)
- ④11ページ、ブレード(刃)の取付けを参照してブレード(刃)固定板と裏蓋を裏蓋固定ネジ(4本)で取付けてください。



図11



図12

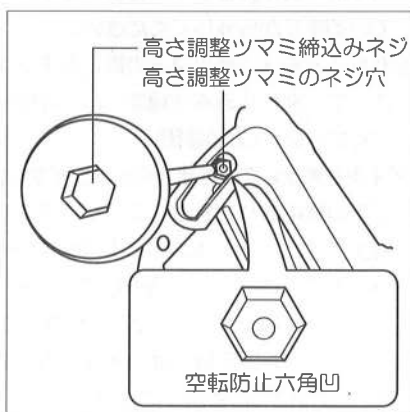


図13

■使用後の手入れ

⚠ 警告

- 使用後の手入れでは必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

- 各部のネジがゆるんでいないか、定期的に点検をしてください。
 - ブレード(刃)についた草や土などを取り除いてください。
 - 本体を乾いた柔らかい布で拭いてください。
- Ⓜシンナーなど石油類などでの清掃、又、水洗いは絶対しないでください。
- 保管は高温にならず、湿気の少ない、お子様の手のとどかないところに保管してください。

■修理について

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、又は、弊社にお問い合わせください。
- 部品のご用命は、お買い上げの販売店、又は、弊社にお問い合わせください。